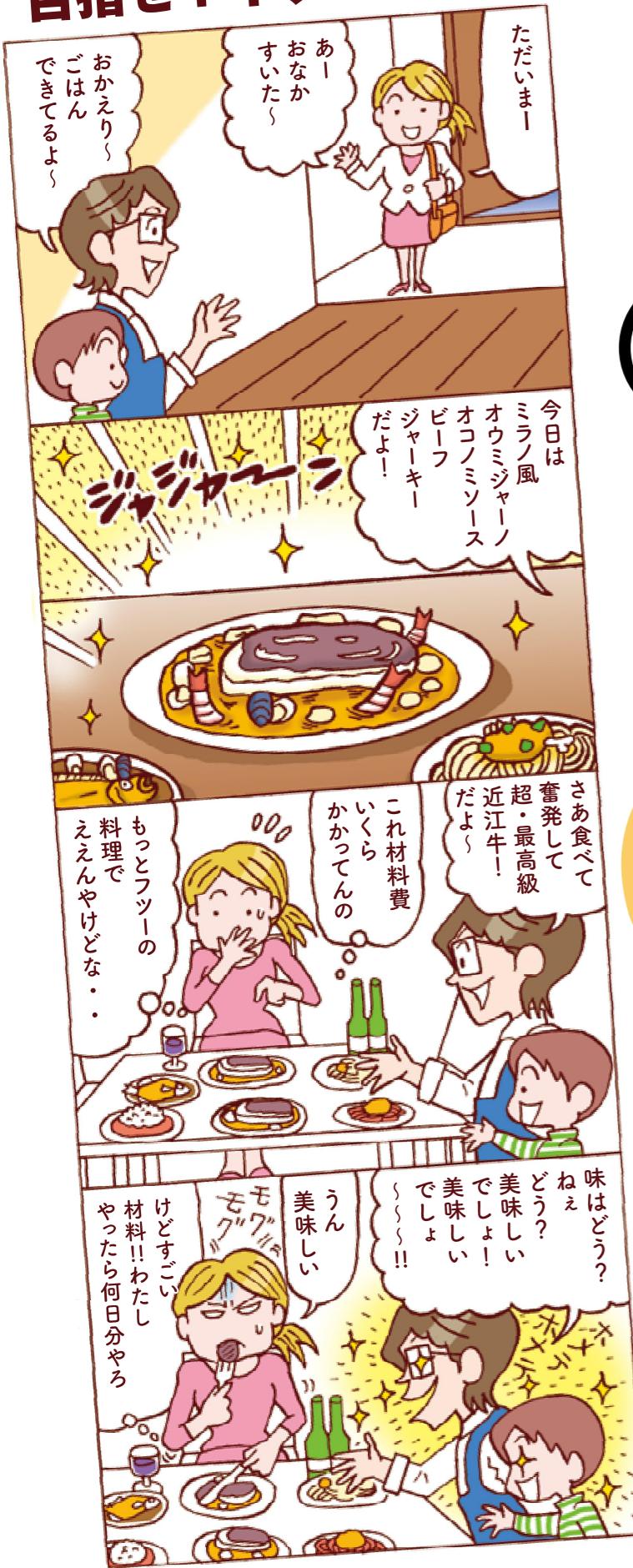


イクメンは
社会を動かす
原動力

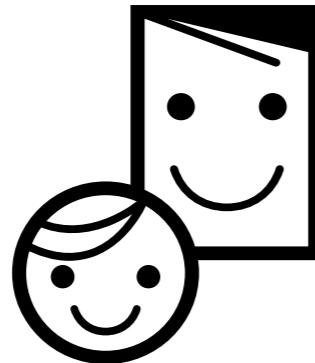
目指せ！イクメンくん



イクメン・カジダンが

家庭を輝かせる。

滋賀を輝かせる。



イクメン
先輩パパの
つぶやき・・・

- 育児や家事は任せろ！
正直、ママが留守の時は不安で仕方がない。
- 育児や家事でほぼ毎日失敗している。
そしてほぼ毎日笑いのネタにしている。
- （私は子どもの着替えのありかがわからぬ）今さら聞けない
- 子どもの趣味がだんだん自分に似てきた。
シメシメ（笑）
- 毎日仕事の帰りが遅かったころ、子どもに「パパ、次はいつ会える？」と言われて心が痛んだ。
そして心を入れ替えた。
- （私は初心者）育児も家事もバッチャリできる人はカッコいいと思う。
- 最近の喜び。洗濯物を畳んでいたら3歳の息子が横に並んでいた。
オムツ交換はオシッコをかけられて一人前だ。
- パパもママも育児のスタートラインは同じだと気づいた。
- 最近、参観日にパパ仲間が増えたきた気がする。
- イクメン・カジダンを自指することは、「自らの働き方」を見つめ直すチャンスでもあります。子育ては一時期しかできないこと。あなたらしく「子育て期」のワーク・ライフ・バランスを設計してください。夫婦で育児に関わることはきっと家族の大きな財産になるはずです。
- イクメン・カジダンは、社会を動かし、滋賀を、日本を元気にする原動力。頑張れ！パパたち！

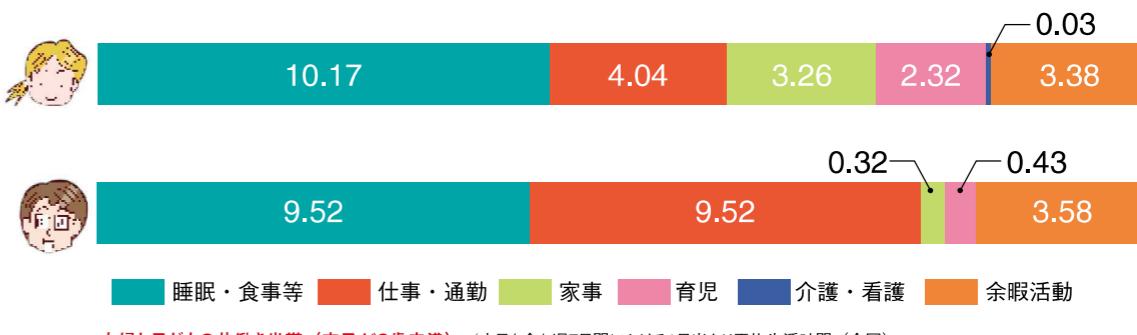
「イクメン」は子育てを積極的に楽しむ男性、「カジダン」は家事に積極的に取り組む男性のこと。仕事も生活もどちらも充実させてどちらも楽しみたい、そんな価値観を持つイクメン・カジダンが増えています。日本では、ママに育児や家事の負担が偏っています。イクメン・カジダンが増え、育児・家事をシェアすることで、ママは仕事や地域活動など自分の希望をかなえることができ、もっともっと個性や能力を発揮することができます。また、家族の経済的、時間的、精神的な余裕ができることで安心して子供を産み育てる環境も作ることができるでしょう。「イクメン・カジダン」が「女性の活躍」を支え、「女性の活躍」により、働き手不足の解消、少子化対策、日本経済の活性化が期待できる—まさにイクメン・カジダンが社会を動かすのです。

子育てを支援する仕組みや制度により、男性も育児休業などが取りやすくなりました。

イクメン・カジダンを自指することは、「自らの働き方」を見つめ直すチャンスでもあります。子育ては一時期しかできないこと。あなたらしく「子育て期」のワーク・ライフ・バランスを設計してください。夫婦で育児に関わることはきっと家族の大きな財産になるはずです。

「イクメン」は日本の救世主！

夫婦の1日の生活時間の比較



夫婦と子どもの共働き世帯（末子が6歳未満）／土日を含む週7日間における1日当たり平均生活時間（全国）
資料：平成23年社会生活基本調査結果（総務省統計局）